

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 オンリーワン東京

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

認知症高齢者対策および福祉事業基盤の拡充

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

増え続ける「認知症高齢者」を介護できる環境として、街中にある「老人ホーム・楽ちゃん」に健常者から要介護者まで受け入れて、「訪問介護事業所・オンリーワン東京」、協力医療団体、地域のボランティア団体等と連携して利用者の要望に応える為、介護職員のレベルアップに必要な行事・研修を実施する予定です。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

今後益々適切なケアと専門的な知識が必要とされる「認知証ケア」の介護技術を、現在当団体に所属している介護職員に「実務研修会」に参加させて今後の「認知証高齢者」の介護の質の向上に努めていきたいと考えています。

下記研修会に参加予定

「認知症高齢者ケア実務者研修会・認知症ケアリーダー・管理者養成の研修会」

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- 1 「認知症高齢者」(施設内居住者及び近隣住民の方)と地域住民、ボランティア団体、施設介護職員による「尺八演奏会」「合唱会」「演奏会」を開催しました。
- 2 「絵画」「書道」に堪能な入居者を講師として希望者に教室を開催しました。
- 3 地域の子ども会と連携して施設内で「ふれあいのつどい」を開催しました。
- 4 協力医療団体の医師・看護師に依頼して、「認知症」についての最新の知識をもとに「講習会」を開催しました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

- 1 健常者と「認知症高齢者」とのふれあいを意識的に開催したが、期待した効果はほぼ獲得できたと評価しています。年間スケジュールを確立して職員の負担を軽減することも今後の課題です。
- 2 集合研修および外部研修の時間が当初計画より減少したのは反省点です。職員相互の勤務体系を再考するとともに、研修意欲の向上を図り、キャリアアップに直接結びつく研修を実施していく必要を痛感した次第です。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



地域 とも会とのふゆあひ



諸団体との合唱会